

Oliver Cann, Director, Media, Tel.: +41 (0)79 799 3405, Email: oliver.cann@weforum.org

日本、中国、およびアセアン 5 か国の国際競争力ランキングが上昇

- 国際競争力レポート 2014-15 年 (Global Competitiveness Report 2014-15) によると、中国、日本および東南アジア 5 大経済大国に確かな成長が見られ、アセアンと南アジアの競争力の差が拡大しています。
- レポートでは、長期的な経済成長に必要な構造的な改革の実施や適合性に、十分な進展が見られないとされています。
- 革新、人材開発、および組織的な強さが、世界で最も競争力のある経済圏を決定する際に、引き続き重要な役割を果たしています。
- 144 経済圏他の概略を記載したレポート全体を、<http://wef.ch/gcr14> からダウンロードできます。
- レポートの結果に関する[ビデオインタビュー](#)をご覧ください。

2014年9月3日、スイス、ジュネーブ – 本日発表された**国際競争力レポート2014-2015**によると、日本、中国および ASEAN 5 大経済大国はすべて、過去12か月に経済競争力を改善しています。レポートの国際競争力指数 (Global Competitiveness Index: GCI) によると、アジアの3経済圏が世界で最も競争力のある上位10か国の中にランクインされています。この3か国はシンガポール(2位)、順位を3つ上げて6位になった日本、および香港(7位)です。中国は順位を1つ上げて28位になり、BRICS経済圏の中で最も競争力のある国としての地位を固めています。ASEAN 五か国がランクを上げたのとは対照的に、インドは順位を11下げて71位になり、南アジアと東南アジアの競争力の差がさらに明確になりつつあることを示しています。

各国の生産性と繁栄を牽引している要因についての年次評価の中で、レポートは、さまざまな地域および異なる発展レベルでの構造改革の実施が不均一であるが、世界的な成長を持続するための必要不可欠な最大の課題としています。また、持続可能で包括的な経済発展を達成するためには、人材開発とイノベーションの二分野においてパブリック・プライベート両セクターのリーダーがより効果的に協力する必要があると強調しています。

国際競争力指数 (GCI) の他の部分では、米国は2年連続してその競争力の地位を向上し、順位を2つ上げて3位になりました。これには制度的枠組みおよびイノベーションの得点が、その背景にあります。

指数上位の経済圏すべてには、人材育成、開発、そして起用すると同時に、イノベーションを促進するための投資が行われている実績があります。これらの賢明で対象を絞った投資は、パブリック・プライベート両セクターの強力な協調に基づく連携した取り組みにより更なる効果が上がります。

ヨーロッパでは、スペイン(35位)、ポルトガル(36位)、ギリシャ(81位)などの、経済危機の深刻な打撃を受けたいくつかの国が、機能的市場および資源配分を改善するための大きな一歩を踏み出しました。同時に、フランス(23位)、イタリア(49位)などの、最大の課題である競争力に引き続き直面している国は、いまだに一連のプロセスに打ち込んでいます。非常に競争力のある北と、遅れている南および東との間の分断が依然として存在する一方で、ヨーロッパの改革を実行している国とそうでない国の間の新しい見解も観察できるようになりました。

GCI 2014-2015 年 経済指数上位 10 か国

1	スイス	1	→
2	シンガポール	2	→
3	米国	5	↑
4	フィンランド	3	↓
5	ドイツ	4	↓
6	日本	9	↑
7	香港 SAR	7	→
8	オランダ	8	→
9	英国	10	↑
10	スウェーデン	6	↓

世界最大の新興市場経済圏のいくつかは、競争力向上における改善で引き続き困難に直面しています。サウジアラビア(24位)、トルコ(45位)、南アフリカ(56位)、ブラジル(57位)、メキシコ(61位)、インド(71位)およびナイジェリア(127位)は、すべてが順位を下げました。

経済的レジリエンス(回復力)を強化し過去の経済的な勢いを維持するには、**ラテンアメリカ**の主要な経済圏は、未だに改革の実施、およびインフラ、技術、革新を改善するための生産的投資を必要としています。チリ(32位)はパナマ(48位)およびコスタリカ(51位)より上位で、ラテンアメリカ地域の先頭に立っています。

地政学的な不安定性に影響され、**中東および北アフリカ**は複雑な状況を示しています。アラブ首長国連邦(12位)は順位を7つ上げて、カタール(16位)より上位に立ちました。この両国の力強いパフォーマンスは、モロッコ(72位)が最高位の北アフリカ諸国とはまったく対照的です。構造改革を確立し、事業環境を改善し、革新能力を強化して、プライベート・セクターの成長を可能にして雇用を拡大することが、この地域にとって非常に重要です。

サブサハラアフリカは引き続き5%に近い素晴らしい成長率を記録しています。この勢いを維持するには、この地域がより生産的な活動に向かって進み、持続的な競争上の課題に対処する必要があります。サブサハラ諸国では、モリシャス(39位)、南アフリカ(56位)およびルワンダ(62位)の3国だけが、ランキングの上位半分に入っています。一般的に、この地域が直面している最大の課題は、人的および物理的なインフラの問題への対処であり、これらの問題が潜在的な可能性を阻害し、高付加価値市場へ参入する能力に影響しています。

「世界的な地政学的緊張状態、所得の不平等の拡大、金融引き締めの可能性は、いまだに一時的な回復をリスクにさらす可能性があり、より持続的で包括的な成長を確保する構造改革が必要です。」と、世界経済フォーラムの創設者兼会長であるクラウス・シュワブ氏は語っています。

米国コロンビア大学の経済学教授であるXavier Sala-i-Martin氏は以下のように付言しています。「近年、我々は新興経済圏と先進諸国との間の分断の終焉を目にしていますが、これは世界的な景気低迷後の数年を特徴付けています。今や、新興および先進国世界の両方の中に、高成長と低成長経済圏間の新しい種類の分断を目にします。急速な成長が可能な経済の特徴とは、構造改革を通じて競争力を高める能力を意味します。」

編集注記:

国際競争力レポートの競争力ランキングは世界経済フォーラムが2004年に導入した、国際競争力係数(GCI)に基づいています。これは、競争力を、**国の生産力のレベルを決定する諸制度、政策、諸要因のセット**であると定義し、GCIスコアは、国の競争力の包括的な概念を集散的に作り上げる12のカテゴリー(競争力の柱)を包含する国レベルのデータを結びつけることによって、算出されます。この12の柱は以下のとおりです:制度、インフラストラクチャ、マクロ経済環境、健康および初等教育、高等教育および職業訓練、財市場の効率、雇用市場の効率、金融市場の成熟、技術的即応能力、市場の規模、事業の知的素養、イノベーション。

国際競争力レポート2014-2015を読む: <http://wef.ch/gcr14reader>

国際競争力指数ランキングはダウンロードする:(PDFまたはExcel形式)

本フォーラムのフェイスブック: <http://wef.ch/facebook>

本フォーラムのツイッター: <http://wef.ch/twitter> および <http://wef.ch/livetweet>

ブログは **Forum Blog** を読む: (<http://wef.ch/blog>)

今後のフォーラムのイベント: <http://wef.ch/events>

フォーラムのニュースリリースを申し込む: <http://wef.ch/news>

世界経済フォーラム(World Economic Forum)は、グローバル・シチズンシップの精神に則り、パブリック・プライベート両セクターの協力を通じて、世界情勢の改善に取り組む国際機関です。ビジネス界、政界、学界および社会におけるその他のリーダーと連携し、世界・地域・産業のアジェンダを形成します。

世界経済フォーラムは1971年、スイスのジュネーブに本部を置く財団として設立された、いずれの政治、党派、国家の利益にも関連しない公平な非営利団体です。あらゆる主要国際機関と緊密に連携しています(www.weforum.org)。



World Economic Forum, 91-93 route de la Capite, CH-1223 Cologny/Geneva
Tel. +41 (0)22 869 1212, Fax +41 (0)22 786 2744, <http://www.weforum.org>